
あけましておめでとうございます。男女共同参画WGです。年も改まり、また新たな気持ちで活動を進めていきたいと思えます。今月は、女性研究者の雇用状況の話題を中心にしてお送りします。

女性教員の採用推進をはかるための基礎的なデータを収集・整理しました。判明した事実を列挙します。詳しくは資料

http://www.shimane-u.ac.jp/index.php?option=com_content&task=view&id=864&Itemid=83

を参照して下さい。（近日（1月21日頃）掲載予定です。）

- 島根大学全体の女性教員の比率は助教を含めて13.1%（2007年10月）で2005年度（11.7%）より1.4ポイント増加しました。
- 2005年度の11.7%は全国立89大学の中で57番目になります。
- 2000年6月の国立大学協会総会の達成目標
「2010年までに女性教員（助手・非常勤を除く）の比率を20%に引き上げる」
2006年3月に閣議決定された『科学技術基本計画（第三期）』の目標
「女性研究者の比率を自然科学系全体として25%に増やす」
[内訳 理学系20%、工学系15%、農学系30%、保健系（医学系）30%]
の値にはまだまだ遠い状態です。
- 学部や学科など研究分野や職階によってその比率は大きく異なります。
法文（9/69=13%）：教育（13/97=13.4%）：総合理工（2/123=1.6%）：生物資源（6/88=6.8%）：医学（43/167=25.7%）：附属病院（9/101=8.9%）：法務研究（2/18=11.1%）：外国語（3/12=25%）：その他の全学センター（5/28=17.9%）となっています。
- 職階別の女性比は、大学全体で**教授4.5%、准教授14.8%、講師28.5%、助教18.3%**と女性の教授の比率が全国（6.3%）よりかなり低い状況です。
- 研究分野別の女性教員比を全国平均と比べると、
家政系女性教員比（全国平均65.9%：島大50%）、医学・保健系（15.1：19.5）、
芸術系（15.4：18.2）、人文系（19.5：14.5）、社会系（15.1：12.5）、
教育系（16.9：15.6）、農学系（4.4：4.8）、工学系（2.9：4.3）、
理学系（5.1：4.1）となり、医学・保健系と芸術系、農学系、工学系以外は全国平均を下回っています。
- 最近15年間**女性教員が一度も在籍していない学科・講座**が多くありました。

「島大子育てネット」のMLに登録しませんか？

昨年度「島大子育てネット」が立ち上がりました！メンバーによるメーリングリストをつくり、楽しく情報交換を行なっています。

子育てネットには、子どもの有無や性別・年齢に関係なく、子どもに関心のある教職員の方ならだれでも参加可能です。

子育てしながら働きやすい職場づくりについて、一緒に考えてみませんか。メンバー登録をご希望の方は、法文学部の片岡までご連絡ください。

(メールアドレス kataoka@soc.shimane-u.ac.jp)

編集後記

男女共同参画推進WGでは、老若男女含めて働きやすい職場の実現を目指して、様々な取り組みを推進しています。今年度も、皆様のご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。